

子育て応援講座へ ご参加ください!



日時 10月25日(月) 午前10時～11時30分

場所 親子交流館 すくっと
2階カルチャールーム

対象 子育て支援に興味のある方

参加費 無料

講師 久瀬正弘(家庭相談員、元福江中学校長)
親子交流館ママサポーター

申込 電話または右記QRコードから

問合せ 親子交流館 すくっと ☎23-1510



共働きで子育てをしている家庭や、周囲に頼れる人がおらず孤かな子育て環境にある家庭のために、「困ったときはお互いさま」という気持ちで、一緒に子育てを応援してくれる方を探しています。

本市では、紹介した団体以外にも、自身で「子育てを応援したい!」という方のための講座を行っています。

あなたの生活スタイルに合った方法で、本市に暮らすママ・パパをサポートすることができます。

**地域のみんなで子育てを
応援しよう!**
子育て応援講座を開催

「地域で子育てを支えあう」をテーマに「子育て応援講座」を開催します。できる時にだけ、できることだけでいい、そんな風に考えて子育ての応援仲間になりませんか。

「どんなサポートを?」と興味を持たれた方は、ぜひ講座へご参加ください。

「孤育て」から「子育て」へ

「母性神話」という言葉をご存じでしょうか。母親は、本来、自分のことを置いてでも子どもに尽くす母性愛が備わっており、母親が子育ての全てを担うことは自然であり最善であるという考え方のことです。

しかし、母性愛は、もともと備わっているものではなく、子どものお世話をする中で、試行錯誤しながら獲得するものであり、男女問わず自然と湧き上がるものではありません。

また、「子どもが3歳になるまでは母親は子育てに専念すべき」という「3歳神話」も、ライフスタイルの変化に伴い、今の時代にはそぐわない考え方となっています。

従来の日本の子育ては、地域の大人たちが一緒に子どもたちを育ててきた文化がありました。「母性神話」「3歳神話」の考え方は、戦後から高度成長期に形成されたものですが、今も私たちの社会にも根強く残っています。しかし、この考え方が現代の子育て世代を追い込み、SOSが出にくい要因となっています。

核家族化や家族関係の変化などの様々な理由により、周囲に頼れない中で、孤独に「孤(子)育て」をしている子育て世代に対し、私たちにもできることがあるはずです。子育てを、親の責任だけにせず、みんなで子どもを守り育てることが当たり前になる地域づくり、そして、援助を求めることに罪悪感を抱かなくてよい社会づくりが必要です。

**田原市に生まれた子どもたちが、
「ここで生まれ育って良かった」と思
えるよう、地域で子育てを応援する
まちを一緒に目指しませんか。**

